

国立大学法人宮崎大学教育研究評議会（平成26年度第6回）議事要旨

日 時 平成26年9月25日（木）13:03～15:11
場 所 事務局大会議室
出席者 菅沼学長、原田理事、岩本理事、吉原理事、増田理事、松下副学長、
横田副学長、伊丹副学長、伊達副学長、
教育文化学部：添田教育文化学部長、新地教育学研究科長、石川教授
医学部：丸山医学部長、浅田教授
工学教育研究部：今井工学教育研究部長、古谷教授
農学部：村上農学部長、國武教授
水光農学工学総合研究科長、酒井基礎教育部長、
林フロンティア科学実験総合センター長、三澤産業動物防疫リサーチセンター長
オブザーバー 日野理事、肥田木監事、土持監事
欠席者 堀井副学長

1. 前回議事要旨の確認

【資料1】により、平成26年度第5回教育研究評議会の議事要旨の確認があり、原案どおり承認された。

2. 議題

(1) 国立大学法人宮崎大学における公的研究費の適正管理に関する規程の一部改正について

原田理事から、【資料2】により、国立大学法人宮崎大学における公的研究費の適正管理に関する規程の一部改正について説明があった。引き続き財務部長から、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」の改正を受けての、新たな管理・運営体制等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 教員公募計画について

教育文化学部長、教育学研究科長、医学部長、工学教育研究部長、農学部長から、【資料3】により、教員公募計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) トレド大学（アメリカ）との大学等間学術交流協定の締結について

国際連携センター長から、【資料4】により、トレド大学との大学等間学術交流協定の締結について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(4) ベトナム農業・地域開発省水資源教育局水環境研究所（ベトナム）との大学等間
学術交流協定の締結について

国際連携センター長から、【資料5】により、ベトナム農業・地域開発省水資源教育局水環境研究所との大学等間学術交流協定の締結について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 報告事項

(1) 学校教育法及び国立大学法人法の一部改正について

企画総務部長から、【資料6】により、学校教育法及び国立大学法人法の一部改正について、9月2日に行われた文部科学省による法改正の実務説明会の概略の報告があった。併せて、今回の法改正に伴う文部科学省が作成した大学における内部規則・運用見直しのチェックリストについて説明があった。

(2) 国立大学法人の第3期中期目標・中期計画の項目等について

松下副学長から、【資料7】により、国立大学法人の第3期中期目標・中期計画の項目等について、第2期との項目の変更点、組織及び業務全般の見直しに関する視点についての報告があった。併せて、今後の中期目標・中期計画のスケジュールについて報告があった。

(3) 教員公募計画に基づく採用結果について

教育文化学部長、医学部長、農学部長から、【資料8】により、教員公募計画に基づく採用結果について報告があった。

(4) 口蹄疫発生国への渡航後の対応について

学長から、【資料9】により、9月3日に行われた危機管理委員会で決定した対応策について報告があった。また、口蹄疫関連の情報を宮崎大学のホームページのトップページに掲載することとなった。

(5) 宮崎県との連携推進会議について

原田理事から、【資料10】により、9月3日に行われた宮崎県との連携推進会議について、宮崎大学からは「大学と県で挑む海外戦略」について、宮崎県からは「宮崎発イノベーションの創出に向けた取組提案」について意見交換を行った旨報告があった。

(6) 環境報告書2014（案）について

吉原理事から、【資料11】により、環境報告書2014（案）について報告があり、引き続き、内容の詳細について、施設環境部長から報告があった。

(7) 地（知）の拠点整備事業 九州・沖縄シンポジウム IN 宮崎 2014

—地域の未来を切り拓く高等教育とは— の開催について

原田理事から、【資料12】により、地（知）の拠点整備事業 九州・沖縄シンポジウムを11月22日（土）に開催する旨報告があった。

(8) 平成26年度オープンキャンパスについて

横田副学長から、【資料13】により、平成26年度のオープンキャンパスについて、当初8月8日、8月9日の開催予定であったが、台風の影響により8月8日の1日のみの開催となったが、例年どおりの参加人数になったとの報告があった。

(9) 国際交流について

伊丹副学長から、【資料14-1】により、ミャンマー国科学技術大臣等の訪問スケジュールについて報告があった。

次に、【資料14-2】により、「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の採択状況について報告があった。

次に、【資料14-3】により、「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」について、学生に対する申請の周知と、申請を支援する体制の報告があった。

次に、【資料14-4】により、JICA 草の根技術協力事業について「ミャンマー国ヒ素汚染地域における衛生保健の実施体制強化プロジェクト」に採択された旨報告があった。

最後に、【資料14-5】により、木花キャンパスに新設するシェアハウス型の外国人留学生寄宿舎について報告があった。

(10) 各学部等の動向報告について

教育文化学部長、教育学研究科長、医学部長、工学教育研究部長、農学部長、農学工学総合研究科長、医学部附属病院長、附属図書館長、基礎教育部長、フロンティア科学実験総合センター長、教育・学生支援センター長、国際連携センター長、情報基盤センター長、産業動物防疫リサーチセンター長、語学教育センター長、IR 推進センター長、IR 推進機構、みやだい COC 推進機構から、各学部等の動向報告があった。

4. その他

(1) 次回教育研究評議会の開催について

学長から、次回の教育研究評議会は10月23日（木）13時からを予定している旨報告があった。